
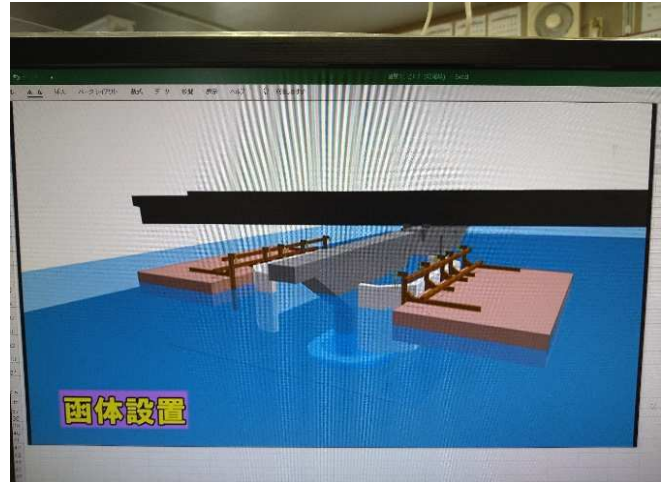


1	表題(課題)名	切尾橋耐震補強工事の最終年度として	
2	工事(業務)名	R2・3切尾橋耐震補強工事	
3	受注者名	株式会社 坂詰組	
4	工期	令和2年8月7日～令和3年9月10日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(つのだ しげる) 角田 茂
6	担当主任監督(調査)員	新潟維持出張所長	
7	課題区分名	⑨その他(工事の最終年度として)	
8	工事(業務)概要	新新バイパスの福島潟放水路に架かる切尾橋で橋脚(P2下り線)の耐震補強工事を施工した。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>1. 本工事で施工したNDR工法(鋼製函体による仮締切)は、北陸地方整備局でも初めての採用であったこと、今後現場条件が合致し採用されることが少ないと想定されるこの工法の施工技術を工事最終年度ということもあり、何らかの形で残したいと考えた。</p> <p>2. 切尾橋耐震補強工事として最終年度であったことから、現場周辺を綺麗にして終了させたかった。</p>		
10	【実施内容】		
	<p>1. 切尾橋の橋脚は上下線2脚ずつ計4脚あり、その橋脚耐震補強についてNDR工法を使用している施工実績が当社にはある。また私自身、4脚とも施工管理に携わらせてもらいました。 本工事着手前に現場と本社で協議し、記録映像を撮影しDVD化するという形でまとめ、本社では撮影会社選択・契約・構成を行ない、現場では構成に基づく撮影タイミングのピックアップを行なった。</p> <p>2. 現場内清掃は週末に実施していたが、本社支援も受けて範囲を広げクリーン活動として大々的に実施した。</p>		
11	【実施結果】		
	<p>1. 撮影は工事開始と同じく11月初旬に現場の空撮から始め、その後鋼製函体の輸送・陸上組立・進水・曳航・水中組立・パラペット設置・函体内の排水と一連の流れを撮影し、以降の耐震補強工事の流れと鋼製函体の撤去状況は写真撮影したものとし、5月末に編集を終えDVDの完成となった。 今後、当社若手技術者への教育技術資料として活用する。 また、高校生対象の現場見学会や出前授業にも活用したいと考えたが、コロナ禍により実現できなかったため技術資料として新発田南高校土木工学科に配布を行った。</p>		
	<p>2. クリーン活動の事前に福島潟放水路管理所及び新潟市北区建設課の了解を得て、活動当日は当社と下請け業者合わせ22名で実施し、現場周辺がとても綺麗になった。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

1. DVD化した内容の一部写真



【実施内容等】

2. クリーン活動

関係者各位 令和 3年 5月 21日

クリーン活動実施について

R2・3切尾橋耐震補強工事
株式会社 坂詰組
現場代理人 角田 茂

◆活動場所 仮設ヤード周囲（下記位置図参照）

◆活動日時 令和3年5月28日（金）16時～（1時間程度）

◆活動人員 15名程度（坂詰組職員、下請協力会社 各々7、8名）

※一般車に注意し見張りを立てながら活動いたします。

◎クリーン活動責任者 株式会社 坂詰組 電話 025-384-0013
角田 茂 携帯 090-2743-0902



The map shows the location of the cleanup activity. It highlights the temporary yard (仮設ヤード) and the surrounding areas, including the left bank of the river (切尾橋下流左岸水路敷新潟市市道沿線) and the right bank (切尾橋上流左岸水路敷新潟市市道沿線). It also shows the location of the bridge (切尾橋) and the surrounding roads (豊栄1C下り線オンランプ周囲 and 豊栄1C上り線オフランプ周囲).

